

「市民防災の日」金沢かわら版

発行者 「市民防災の日」金沢区推進委員会

火の用心で安心の冬を ～金沢消防署の取組を紹介～



駅頭広報出陣式



イベントを体験する来場者

11月9日から15日まで実施された「全国秋の火災予防運動」に合わせ、金沢消防署は区内で防火・防災の啓発活動を展開しました。金沢文庫駅前広場では駅頭広報を行い、通勤・通学の方に火災予防を呼びかけました。

三井アウトレットパーク横浜ベイサイドでは「金沢防火防災フェア」を開催。防火・防災の重要性を伝える展示や体験イベントなどを実施し、来場者の防災意識向上を図りました。



消防車と記念撮影



救急車の説明を聞く児童

駅頭広報・イベントを展開

次世代の防災の担い手 に向けて

金沢消防署では毎年、区内の小学校で「お出かけ防災教室」を開催しています。この教室は、児童が消防署を訪れたり、消防職員が小学校に出向いたりして、体験型の授業を行います。

児童たちは、消防車や救急車を見たり、消防職員との交流を通じて、消防の仕事や防災の重要性について理解を深めています。

防災絵本を寄贈 消防おはなし会を開催



贈呈式
(左から石川館長、児玉会長、三村署長)



消防おはなし会

12月12日、金沢火災予防協会による防災絵本の贈呈式が金沢図書館で行われました。この取り組みは、子どもたちの防災の意識を高め、命を守る知識を身につけることを目的とし、今回で9年目となりました（令和7年度は、14冊を寄贈）。

贈呈式の後には、「消防おはなし会」が開かれ、子どもたちは図書館司書と消防職員による絵本の読み聞かせに耳を傾け、防災の大切さを学びました。災害はいつ起ころかわかりません。地域全体で防災意識を高め、子どもたちと一緒に守る力を育てていきましょう。

化学災害を見据えて



防護服を着装し活動する隊員

△リチウムイオン電池による火災が増えています△
リチウムイオン電池は、ノートパソコン・スマートフォン・モバイルバッテリーなどに使用されています。使い方や捨て方を誤ると火災につながる恐れがありますので取扱いに注意しましょう。

12月4日、金沢消防署で化学災害発生を想定した訓練が行われました。各部隊が連携し、対応力の向上と実際の災害時における協力体制の強化を目指しました。

訓練は、実戦形式で行われ、迅速な情報共有や現場対応の手順などを確認しました。いかなる災害においても全隊員が安全、確実に活動できるようにし、区民の安全安心を守っています。

